

自治体公式LINEアカウントを活用した 【乳幼児虐待予防】 【孤育て予防】



特定非営利活動法人

きずなメール・
プロジェクト



👉誰でも読める
きずなメーLITEを
お試しください♪

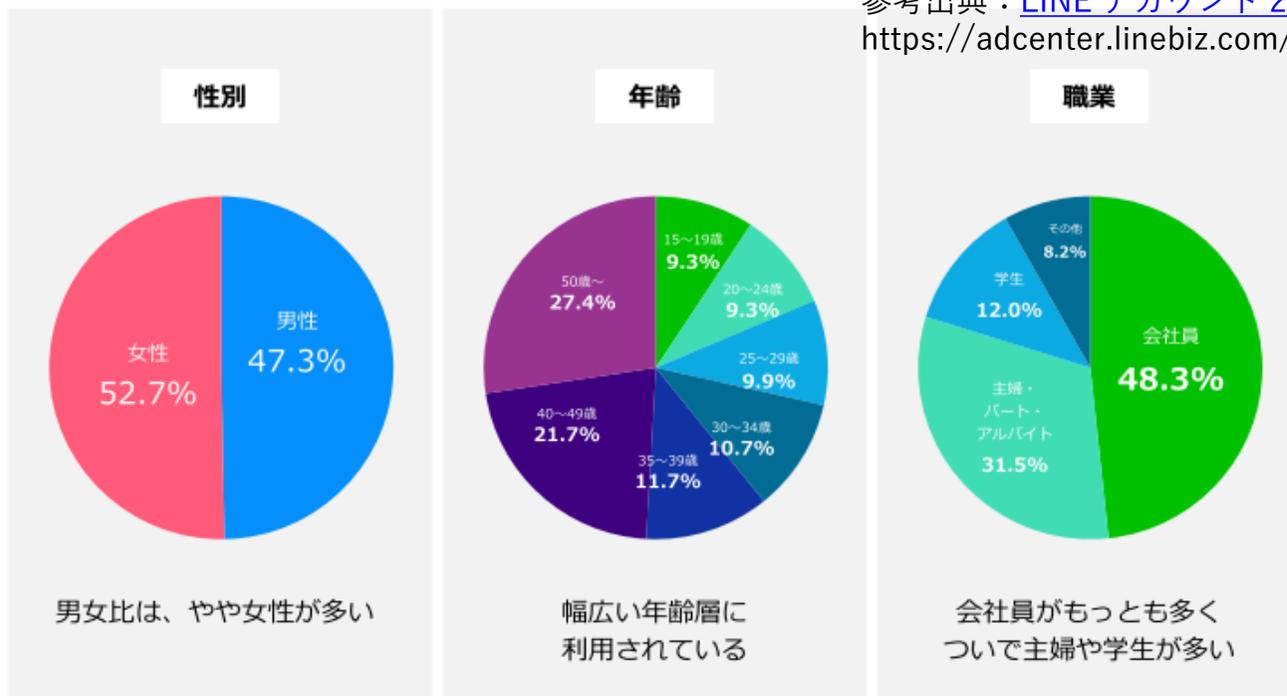
お見積り、ご質問等、お気軽にどうぞ。

電話：03-6317-5575 (担当：増田)

10代～50代、男女問わず幅広いユーザー層のLINE

LINEユーザー属性（性別・年齢・職業）

参考出典：[LINE アカウント 2018年12-2019年3月期 媒体資料](https://adcenter.linebiz.com/mediaguide/?pageID=14)
<https://adcenter.linebiz.com/mediaguide/?pageID=14>



調査機関：マクロミル社・インターネット調査(2018年7月実施/全国15～69歳のLINEユーザーを対象/サンプル数2,060)

LINEアカウント運用をはじめるまえに考えること
目的（広報広聴・情報提供…）は？メインの友だち対象は？

自治体公式LINEアカウントの運用方針案

LINEアカウントは自治体と市民にとって

*地域とのつながりをより深めるためのツール。

自治体での活用を広げるためにも、



20代30代の子育て世代へPR!



まずは、登録対象者を定めた運用を提案します。

*参考出典：<https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2019/2685>

子育て世代の登録者を増やすことが
LINEアカウント全体の活用促進につながります。

子育て世代・妊産婦を取り巻く主要な社会課題

孤育て

家庭からの孤立
地域からの孤立

ワンオペレー
ション育児

産後うつ

妊産婦の
5人~10人に
一人が経験

乳幼児虐待

虐待死がもっ
とも多いのは
0歳0か月

ハイリスクの方は専門職による対面支援が必要。
それ以前の段階で、予防のためにできることがあります。

ポピュレーションアプローチとして きずなメール原稿（^{マタニティ}子育て）を活用してみませんか？

複数の医師による監修チームが
「エビデンス」と「情報の公共性」
を担保し続けます。



読者から届くお礼メッセージ

お子さんの3歳誕生日までメールを読んだ方の感想

子育てメール楽しみに拝読しておりました。予防接種や健診など妻の苦勞が見えていないことも多くあったと思いますがこちらのメールを見ることにより協力するきっかけになったと思います。本日無事に3歳の誕生日を迎えることができこちらのメールは終了となりましたが、夫婦でする子育てのよい参考となりました。

母親だけでなくでなくむしろ父親が関心を持つ、理解を深めるためにメールを読むことはよいと思います。

相模原市でのこのような活動はとても素晴らしいと思います。

これからも是非続けていって頂きたいと思います。

メール配信ありがとうございました。

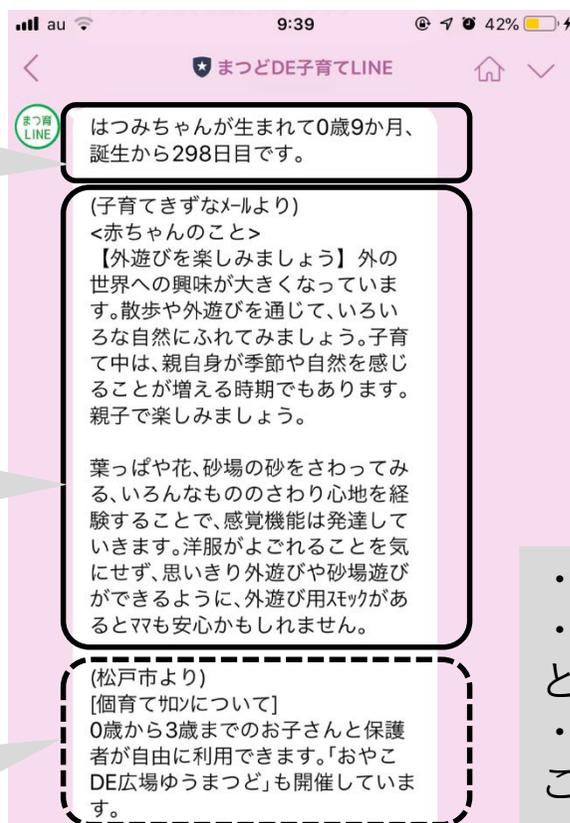
子育て世代に必要なメッセージ
「寄り添い・支える・つながる」を実現します。

地域の子育てに必要な自治体からの情報を最後まで読み切らせる仕組み

「ニックネーム」と「生まれて〇日目」で呼びかけ、今日の“あなた”へ寄り添う。

《専門医の監修済》赤ちゃんのことや、ママパパへのメッセージで子育てを支える。

お子さんの月齢にあった自治体からの支援情報を届けることで自治体と住民がつながる。



詳しくはこちら

https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisetsu-guide/kaikan_hole/uyu_matsudo/corner.html

お問合せ:男女共同参画課
電話:047-364-8778

※赤ちゃんとママの状態はあくまで一般的なものであり、個人差があります。

[登録内容の変更/配信解除はこちら]
<https://www.kizunamail3.com/l/rtyzj57ov4z/>

[お問い合わせ先]
NPO法人きずなメールプロジェクト
<http://www.kizunamail.com>

- ・ 問合せ先の掲載。
- ・ 情報は一般的なものであることの説明。
- ・ いつでも登録解除出来る事。これらも安心に繋がります。

子育て世代に必要なメッセージをその人の状況にあったタイミングで届けます。

妊娠からお子さんの3歳誕生日まで切れ目なく、 約4年間で534回のメッセージを届ける



育児負担の軽減、自治体への信頼感UPにより
【乳幼児虐待】 【孤育て】を予防し
地域で育児を楽しめる街の実現に。

自治体・民間・住民と一緒により良い事業へ育てる仕組み

自治体

子育て生活に関わる各課

市のサービスとしての信頼性の担保
妊産婦、子育て世代への周知
自治体情報の提供
行政からの「見守り」の提供
事業をよりよくするための提案

NPO法人きずな メール・プロジェクト

原稿/配信システムの提供
事業をよりよくするための提案
導入自治体同士のコミュニティづくり

医療機関

地域で活動している
子育て団体など

読者アンケートからの広聴

きずなメール原稿を活用
地域での子育てに必要な
メッセージを届ける

自治体
公式
LINE

子育て世代



読者アンケートで子育て世代の生の声をひろおう。
子育て支援策検討の参考や、広聴機能も果たします。

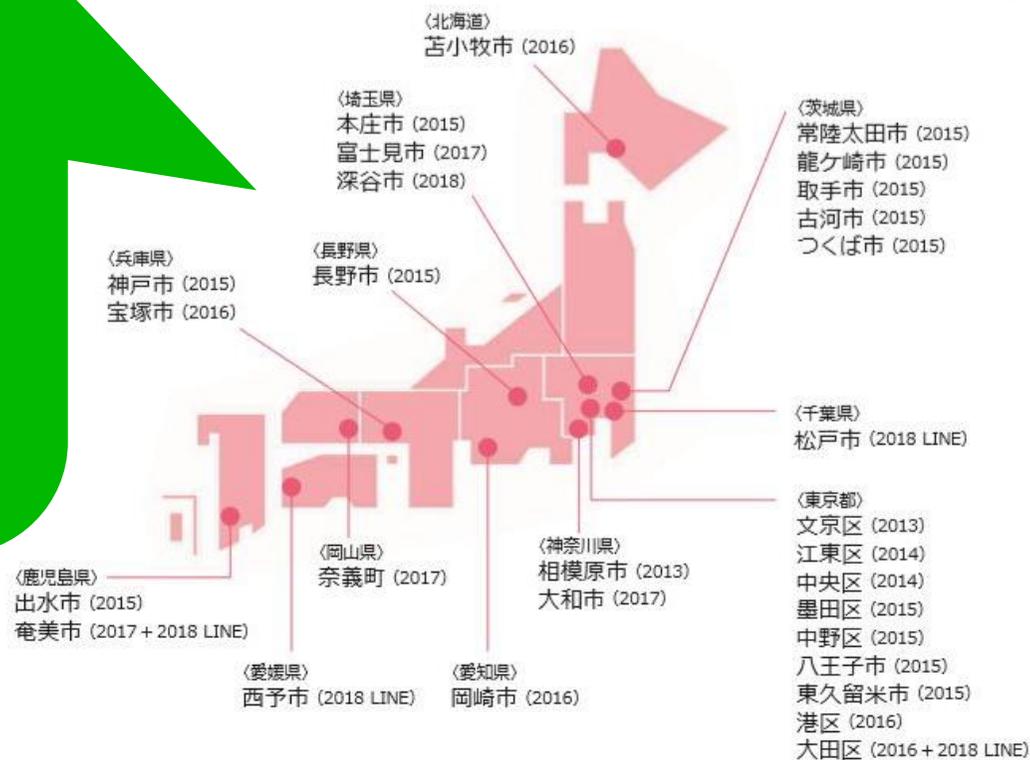
導入自治体のうちLINEアカウントの活用は7自治体

2018年～開始・運用中

- ・東京都大田区（メール+LINE）
- ・鹿児島県奄美市（メール+LINE）
- ・千葉県松戸市（LINE）
- ・愛媛県西予市（LINE）

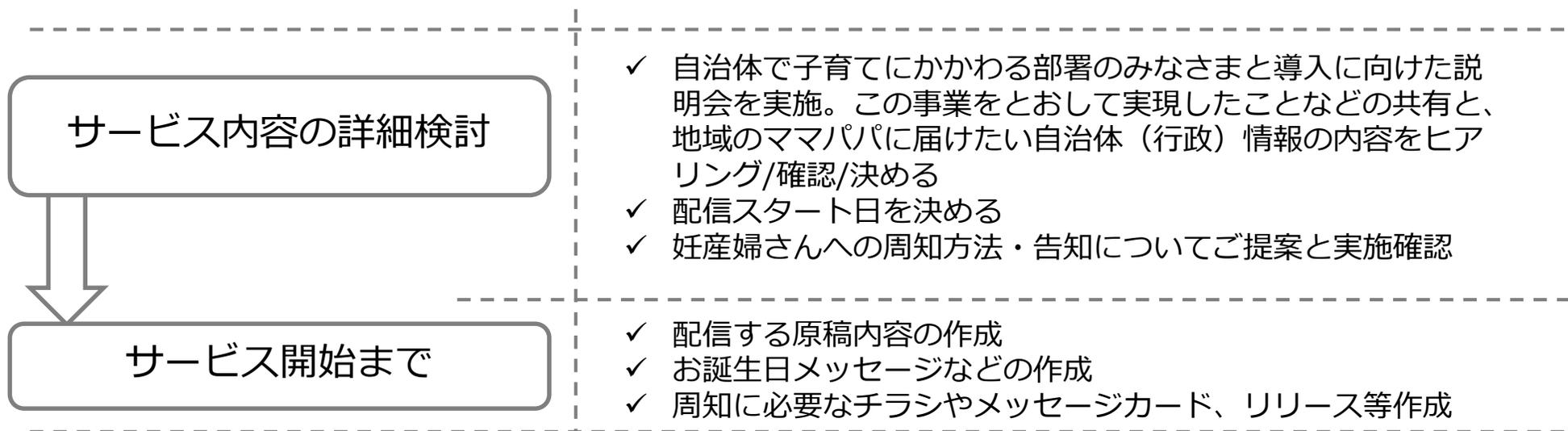
2019年～開始予定

- ・新潟県新潟市西区（LINE）
- ・長野県長野市（メール+LINE）
- ・岡山県奈義町（メール+LINE）
- …他、ご相談多数



まずは子育て世代とつながるLINEアカウントの運用を。
『きずなメール』の配信のみで活用中です。

導入ステップと予算について



予算案（年間出生数1500人規模の場合）
 配信期間：妊娠期 / 子育て期（3歳誕生日まで）

項目	費用(税抜)
初期導入費用（※初年度のみ）	¥525,000~
原稿貸出費用・管理料など（年間）	¥1,075,380~
年次アンケート実施費用	¥230,000
原稿更新費用（2年目以降）	¥100,000~
周知アイテム制作費用	¥150,000~必要に応じて

（運用イメージ）

自治体
公式
LINE

きずなメール〇〇市版
配信

弊団体のサービスで運用スタート後に貴市の運用方針等により、以下のような他社サービスをLINEアカウントに組み合わせることもできます。（一例です）

ゴミ分別

相談窓口

参考：妊娠期に「おめでとう」を伝えるための特別なカードをご提案

皆さまのおめでとうの気持ちを伝えるために「おめでとうカード」を作りました。

自治体の皆さまが、確実に、妊婦さんに直接会える機会は、母子手帳交付時の1回だけ。

安心して妊娠期を過ごしてもらえるようにおめでとうカードを手渡してみませんか？

「妊娠おめでとう。」
「あなたの妊娠や出産を、私達もサポートします。」とメッセージを伝えながら地域とのつながりをより深めるための自治体公式LINEアカウントを紹介しましょう。

住民の皆様には安心を。
自治体の方には、地域の子育て世帯と繋がる機会として、ぜひ、ご活用ください。



参考：医療監修者一覧

マタニティきずなメール 医療監修者

1. 馬場真佐美 管理栄養士
(神奈川・神奈川県立精神医療センター栄養管理科長)
2. 金子英介 産婦人科医
(東京・金子レディースクリニック院長)



子育てきずなメール 原稿制作・医療監修者

1. 石橋幸滋 総合診療医
(東京・石橋クリニック院長)
2. 太田寛 産婦人科医
(東京・アルテミスウイメンズホスピタル産婦人科)
3. 川村和久 小児科医
(宮城・かわむらこどもクリニック院長)
4. 田中秀朋 小児科医
(埼玉・あかちゃんとかどものクリニック院長)
5. 田原卓浩 小児科医
(山口・たはらクリニック院長)
6. 平本龍吾 小児科医
(千葉・松戸市立総合医療センター小児医療センター長)
7. 吉永陽一郎 小児科医
(福岡・吉永小児科医院院長)
8. 和座一弘 総合診療医
(千葉・わざクリニック院長)



子育てきずなメール運用報告会にて

